とうきょうとしゃかいふくしじぎょうだん
東京都社会福祉事業団

# 東村山福祉園だより

道

平成２９年　３月
発行：
（社福）東京都社会福祉事業団
東京都東村山福祉園

メール mail@higashimurayama-f.org　ホームページ http://higashimurayama-f.org

## 地域の皆様と東村山福祉園

事業推進係

東村山福祉園の利用者の皆様は、地域の一員として、生活を送っています。また、職員も、地域の皆様と一緒に行事に参加し、協力しています。

１１月、お向かいの市立第二保育園のみなさまが、福祉園でイモ堀りを楽しみました。その後、保育園でおいしくイモを焼いて、東村山福祉園にプレゼントしてくれました。元気いっぱいな園児のみなさん、ありがとうございました。

１２月、地域の防災訓練に職員が参加しました。炊き出し補助、受付補助を担当させていただきました。また、地域の皆様と一緒に、起震車体験もしました。地震の際にどう対処し、町の皆様と協力してゆくか、職員が再考するきっかけとなりました。また、町内会の皆様は息がピッタリ、団結力の高さを実感した一日でもありました。

１月のもちつき大会では、町内会の皆様と協力して、おもちつきをしました。新施設の工事関係者も参加し、大奮闘！和気あいあいとした雰囲気で、あんこモチやきなこモチなどをいただきました。

これからも、地域の皆様と共に、東村山福祉園と、希望の郷東村山（仮称）は歩んでいきます。

## 鬼は外、福は内！～節分の豆まき～

サービス第９係

今年は２月４日(土)に、豆まきをしました！！利用者さんが心待ちにされていたこの日に、クルクルの髪の金棒を持った赤鬼、青鬼が現れました！鬼を怖がり泣く方もいれば、やっつけようと鬼に挑む方、鬼を見て楽しそうに笑う方、見ないフリをする方もいて、皆節分を楽しんでいました。利用者さんと職員が一緒に「鬼は外～福は内～」と豆を投げ、鬼を外に追い出す事が出来ました☆最後は鬼と仲直りして一緒に記念撮影。来年また来てくれるようお願いしました。おやつの時間には、豆を歳の数よりたくさん召し上がる方も…！それぞれがおいしく豆をいただきました♪

## 平成28年度利用者満足度調査結果

事業推進係

毎年テーマを変え実施している利用者満足度調査ですが、今年度は、１１月から１２月にかけて「ご家族への情報提供やご家族への対応、サポート」について調査を行いました。お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。結果の概要を報告いたします。

１　園からの情報提供・説明について（数字は回答数）

（１）園からの方針や考え方を分かりやすく伝えていますか。

①はい　１７　②どちらともいえない　５　③いいえ　２　④わからない　０

（２）利用者の生活や支援内容について詳しい説明を受けていますか。

①はい　１８　②どちらともいえない　４　③いいえ　２　④わからない　０

（３）家族連絡会や棟の懇談会での情報提供は充分だと思いますか。

①はい　１４　②どちらともいえない　８　③いいえ　１　④わからない　１

２　ご家族への対応・サポートについて

（１）ご家族の相談に親切・丁寧に対応していると思いますか。

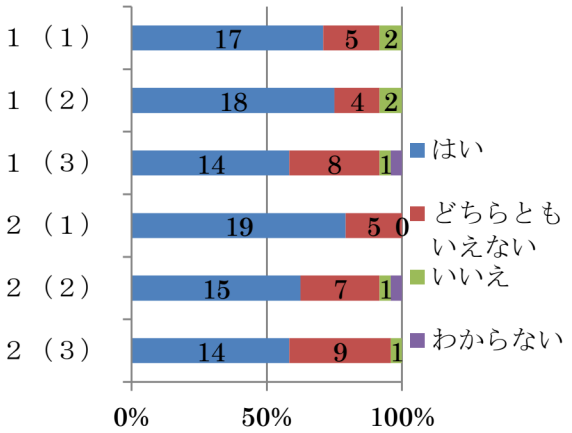
①はい　１９　②どちらともいえない　５　③いいえ　０　④わからない　０

（２）職員に不満を言いやすい雰囲気がありますか。

①はい　１５
②どちらともいえない　７
③いいえ　１
④わからない　１

（３）ご家族への対応に満足していますか。

①はい　１４
②どちらともいえない　９
③いいえ　１
④わからない　０




３　ご意見

情報提供について「行事予定は早めに知らせて欲しい」「園での様子などを定期的にファックスやメールで送って欲しい」等、ご家族への対応では「書類申請の行き違いがたまにある」「もっと園側から職員の考えなどを提案して欲しい」等のご意見をいただきました。

園では、今後も同様の調査を行い、サービス向上に努めていきたいと考えています。

## 普通救命講習会を行いました

管理運営係

2月、3日間にわたり、職員を対象に「普通救命講習会」を実施しました。76名の職員が参加し、東村山消防署ならびに東京防災救急協会の方から緊急時における救急救命の必要性やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い方法を教えていただきました。

参加者は、皆真剣なまなざしで話を聞き緊張感を持って訓練に取り組んでいました。

救命技術は年々進化しており、過去に学んだ救命手順の再確認・救命知識の更新等改めて講習を定期的に受講することの大切さを実感しました。

当園では、今後も職員の救命技能の習得、維持向上のため定期的に講習会を実施していきます。

## 事例研究発表会に出席しました

事例研究発表会担当

１月３１日、野方区民ホールにて、東京都社会福祉事業団　事例研究発表会が開催されました。午前中に、ルーテル学院大学教授・社会福祉法人あおぞら会理事長の西原雄次郎先生による「虐待の無い支援をめざして―皆で知恵を出し合って―」というテーマの基調講演をしていただきました。

午後は、当事業団の障害者（児）施設が、６つの事例について発表を行いました。当園からは「自己肯定の低い知的障害を持つ利用者へのアプローチについて～グループホームきらり、生活介護じゃんぷ　Ａさんの場合～」を発表しました。生活の場であるグループホームと、日中活動の場である生活介護で連携を強化した、支援の実践例を発表しました。グループホーム・生活介護へのニーズはそれぞれ違っていても、障害特性や、成育歴等のご本人の背景を理解した支援を行い、各部署で密な連携をはかっていくことで、利用者さんを永続的に支える場としていけるような発表を行いました。

各園の発表では、タブレットを活用した支援や、介護予防・褥瘡に対する支援、服薬支援に関する改善、看取りケアの実践などの各部署の連携に関する報告がありました。各園の熱意ある取組が、これからの事業団の推進力となるような事例研究発表会でした。

## 元気いっぱい２棟です！～児童棟の一日～

サービス第２係

今回は、当園の児童棟のひとつ、２棟を紹介します。

平日は、毎日大きなバスに乗って学校へ通学します。学校の先生と一緒に図書館に行ったり、電車に乗ったり、たくさん新しい事に挑戦しながら勉強を頑張っています。未就学児は園のお向かいの保育園に通園しています。

休日は、おやつなどの買い物に行ったり、遊園地やプールに出掛けたりします。お出かけの醍醐味、外食も楽しみにしています。昨年は河口湖に宿泊旅行に行き、遊覧船に乗って新しい体験を楽しみました。

棟での生活は、朝6時に起きて、職員と一緒に着替えをします。ちょっと眠たい顔のお友達と、互いに助け合って朝を乗り切っています。夜は、順番で大きなお風呂に入ります。音楽にあわせ身体を洗い、まるでカラオケのように楽しんでいます。

毎食のご飯は、いつもおいしくみんながおかわりをしています。苦手な野菜もおいしく料理されているので、毎日お腹いっぱい召し上がっています。

園内でも園外でもみんながやさしく声を掛けてくれ、皆様とても嬉しそうです。いっぱい勉強してたくさん食べて大きくなっていく利用者の皆様が、毎日笑顔でいられるようしっかり支援します。

## 東村山福祉園で働く仲間たち

事業推進係

東村山福祉園で働く仲間たちについて、若干名ではありますが紹介させていただきます！東村山福祉園では様々な職種のスタッフが協力して、利用者の皆様の生活を支援しています。どんな職員がメンバーの一員なのでしょうか？

1．仕事について　2．職場の印象　3．普段の趣味・特技など　4．今後の抱負　です！

管理課事業推進係　川田　沙織（職種・事務）

1．①請求事務　②広報事務　③防災関連事務　担当でした！
園だよりは平成28年度から私が担当しています♪
2．顔に笑いジワが増えました…みなさんのせいだー！（笑）
3．ピアノ、おしゃべり、旅行！
4．明るく、楽しく、前向きに☆

福祉サービス課サービス第８係　佐々木　大輔（職種・福祉）

1．①利用者生活支援　②利用者事務手続支援
③保護者・関係機関対応　④リスク部会担当
2．皆でチームとして利用者の皆様の生活支援をしています。
3．食べ歩き、恋ダンス、武道
4．新体制になっても七転び八起きでがんばります！

福祉サービス課サービス第１０係　我妻　やよい（職種・福祉）

1．日中活動担当です。充実した活動ができるよう支援します。
2．明るい皆さんに囲まれ、フォローして頂きながら、
子育てと両立して楽しく働ける職場です。
3．今は趣味にあてる時間がありません…（＞_＜）
4．楽しく笑顔を大切にしていきたいです。

福祉サービス課サービス第１係　大塚　亜希子（職種・心理）

1．個別セッションや発達アセスメント等をしながら、
福祉職などと連携して、心理的な支援をしています。
2．支援への思いが「アツイ」職場！！です。
3．最近は、カラオケや映画で気分転換しています。
4．これからも研鑽を積み、良い支援につなげたいです。

## 東京都社会福祉事業団賛助会員の募集

事業推進係

東京都社会福祉事業団は、自立的経営基盤の確立に向けた取組の一環として、賛助会を創設しました。現在、会員を募集中ですので、ご興味のある方は、当園ロビーのチラシをご覧頂くか、職員へお声がけください。